



ケ ト ナ イ



ホームページ



学校ブログ

第4号 R7.7.24
電話 47-2185
発行者 校長 田口雅和

教育目標：叡智・友愛・不撓 / R7重点目標：的確な「判断」と「行動」のできる生徒の育成

中体連の総括と夏休みに向けて～SNS等の事故防止～

校長 田 口 雅 和

4月7日から始まった学校生活も一区切りし、いよいよ28日間の夏休みに入ります。ここまでおよそ4ヶ月ですが、入学式、運動会、各種テスト、中体連等多くの教育活動があり、生徒はそれら1つ1つの取組を通じて少しずつ成長している様子が伝わってきます。

特に中体連では、私も可能な限り各競技会場に足を運び、生徒の頑張りに声援を送りました。3年生は中学校3年間の集大成でもあり、1つ1つのプレーに緊張感や力強さがあり、それを感じとることができました。全道大会への出場権があるソフトボー部の生徒の皆さんには、もう1段上を目指して頑張ってきてほしいです。惜しくも敗れてしまった部活動の生徒の皆さんには、きっと悔しさと同時にやり切ったという達成感も感じられたのではないのでしょうか。今までの努力と心身の成長に大きな拍手を送ります。もう1つ今回の中体連を応援して感じたことは、2年生の活躍が素晴らしかったことです。3年生と少しでも長く一緒に活動をしたい気持ちや勝利を掴み取りたい気持ちが強く表れ、本当によく集中して頑張っていました。これは次の大会である新人戦に向けて、大きな期待ができます。今から楽しみにしています。また、吹奏楽部は8月2日（土）にコンクールが開催されます。聴き応えのある素晴らしい演奏となるよう、残された期間で仕上げていってほしいです。

さて、先日、NTT 東日本の職員の方をお招きし、「インターネットの安心安全な使い方講座」を実施しました。インターネットやSNSに関する正しい知識や使用方法を学ぶこと、ネットトラブルを回避するスキルを身に付け、自分の身を守り、安心・安全に利用できる力を付けていくことが目的です。特にSNSについては、Twitter、LINE、Instagram…、今、SNSの話題を耳にしない日はありません。自らの表現の場であったり、交友関係を広げていく場であったりと、多くのメリットをもっていますが、デメリットが存在することも事実です。そのデメリットとして考えられる点を3点に絞り挙げておきます。

- ①スマホに依存状態になり、離れられなくなる。生活リズムが乱れる。
- ②ゲームに課金してしまい、お金が必要になる。
- ③知らない人とつながれるため、自分の身を危険にさらしやすい。



とても便利なスマホやタブレット等ですが、子供がどのような使い方をしているのか、保護者がきちんと把握し、責任をもつことが重要です。SNSを介したトラブルは保護者間で話し合いを持ったり、警察等関係機関と相談したりして解決するのが基本となります。今一度、子供がトラブルに巻き込まれたり、巻き込んだりしないようご家庭で確認をしてください。

夏休みは生徒にとって、時間が十分にあるため、気持ちの上で開放的になるものです。旅行や地域行事、各種イベント等外出することも多くなると思います。本人が気付かないうちに、さまざまな事件や事故に巻き込まれてしまう危険と隣り合わせであることも間違いありません。ご家庭でも十分留意されますようお願いいたします。暑い日もあると思います。熱中症予防など健康管理に気を付けて、さらには交通事故や水の事故等にも十分留意していただき、夏休み明けには全員が元気に登校してきてほしいです。

児童生徒性暴力等の防止に向けた学校の取組

昨今の報道を受け、緊急で対応しました。

1：学校施設の点検と整理整頓

盗撮防止のため、トイレや更衣室等についてカメラ等の設置の有無を点検しました。不必要な物品の撤去や整理整頓により、隠しカメラ等が設置されないよう今後も環境整備を行ってまいります。

2：相談体制の整備

生徒や保護者の皆さんが安心して相談できるよう、管理職並びに養護教諭が相談対応者となっております。生徒への性暴力等の問題や相談がある場合には、お声かけください。また、北海道子ども相談支援センターなどの外部相談窓口の情報もご案内しております。

今後とも、生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、教職員一丸となって安心・安全な学校づくりに努めてまいります。保護者の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

○北海道子ども相談支援センター（24 時間対応）

電話：0120-3882-56 メール：sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/ijimedenwasoudan.htm>

訓子府町立訓子府中学校「学校いじめ防止基本方針」

『訓中 いじめ防止基本方針：いじめは絶対に行ってはならないこと』

いじめ防止等のための対策に関する基本的な方針（ダイジェスト版）

【いじめの定義】

いじめとは、「児童生徒等に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義する。

【いじめ防止等の対策に関する基本理念】

いじめの芽はどの児童生徒にも生じ得るという緊張感を持ち、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにする。

○いじめを受けた児童生徒にも、何らかの原因がある、責任があるという考え方はあってはならない。

健闘！中体連大会

6月14日から始まった中体連大会ですが、出場した各部活動・地域少年団/地域クラブはそれぞれ十分に力を発揮しました。好ゲームが多く、応援する方にも力が入りました。チームの最終目標には惜しくも届かなかった部もあったと思いますが、今できることを精一杯やりきった試合ばかりだったと思います。3年生にとっては最後となる中体連となりました。たいへんよく頑張りました。

【戦績】

○サッカー部	訓中・留辺蘂・常呂中合同	0-9 JOGATURA
○ソフトボール部	訓中	6-7 北見北中
○野球部	(1S)訓中	9-0 ポラリス
	(2S)訓中	1-0 遠軽南・生田原・丸瀬布 準決勝：訓中 4-9 美幌北
○男子バレー部	(予選)訓中	0-2 遠軽南・丸瀬布 訓中 0-2 北光・佐呂間中
○女子バレー部	(予選)訓中	2-0 美幌中 (決勝トーナメント)訓中 2-0 清里 訓中 2-0 雄武
		準決勝：訓中 2-1 北見北・置戸
		決勝：訓中 1-2 東藻琴・小清水・女満別
○剣道少年団	女子団体	訓子府尚武館 1-3 小泉中 訓子府尚武館 0-3 北見剣心館
	女子個人	菅野友愛 ○-× 岡 (小泉) 菅野友愛 ×-○ 金澤 (小泉)
		前田藍子 ○-× 齊藤(網一) 前田藍子 ×-○ 沢田 (小泉)
		加藤璃美 ×-○ 若沢 (小泉)

今年も町内の一人暮らしの高齢者の方に、暑中見舞いを書きました。これは社会福祉協議会の取組の1つで、訓子府中学校では全校生徒で何年も続けて参加しています。生徒一人一人が丁寧に心を込めてしたためました。8月下旬に投函されるようです。町の取組に賛同し、中学生も社会の一員であると感じられる取組になっています。

学校閉庁日の取組にご協力ください

教職員の働き方改革を進めるため、学校閉庁日を設定いたします。学校閉庁期間は、部活動を含め全ての活動を中止します。(8/13日～15日)

学校閉庁期間中(または土・日・祝日・夜間)に、事故・事件に遭遇等の緊急のご用件が生じた場合は、下記メールにご連絡願います。校長または教頭から、折り返し電話をさせていただきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【緊急メールアドレス kunneppu.chu@gmail.com 】

※右のQRコードをご利用ください。

※必ず、学年、お名前、連絡先の電話番号をご記入ください。

詳細は連絡先の電話番号に電話して確認させていただきます。

ヘルメット着用

ほとんどの生徒がヘルメットを着用し登校することができます。万が一の際に、頭部を守るヘルメットの着用は被害を軽減し、自分の命を守ります。

夏季休業中であっても、自転車に乗車する際は、ヘルメット着用をお声かけください。